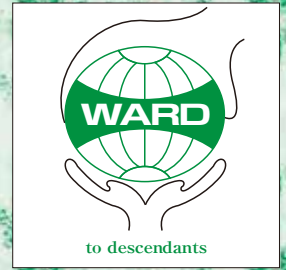


# WARD

ワード

World Association of Representatives for Descendants  
— 世界子孫代理人会 —



## 民間ユネスコ運動

ユネスコは1945年の国連会議の取り決めに基づいて翌年に設立された国際連合教育科学文化機関(UNESCO)の略称です。戦争の惨禍を繰り返さないように国際平和と教育科学文化を含む人類共通の福祉という目的のために活動をしています。国連や政府(文科省と日本ユネスコ国内委員会、外務省)と民間組織が協同して活動しており、後者の代表的な団体としては(公益社団法人)日本ユネスコ協会連盟とその傘下として各都道府県に自主的に組織された民間団体による連絡協議会が組織されています。(末尾参照)



たとえば東京都には約30のユネスコ協会あるいはユネスコクラブがあり、地域を中心にあるいはもう少し広い範囲の会員が、特定の目標を持つなどしてそれぞれの活動をしています。

最近の動向としては、ESD(持続可能な開発のための教育)とかSDGs(持続可能な開発目標)とかのキーワードを目にすることが増えていると思います。後者としては2030年までに達成する17の目標を掲げており、例えば、「飢餓をゼロに」「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「人や国の不平等をなくそう」「気候変動に具体的な対策を」「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさを守ろう」「平和と公正をすべての人に」など、これまでWARDが目指してきたものと共通するものも多いです。

また、各地のユネスコ協会の活動事例を見てみると、それぞれに重点とする内容には特色がありますが、一番大きな柱になっているのは「平和の文化」実践活動だと言えるでしょう。わかりやすいのは、特定の分野に関する講演会、学習会やシンポジウム、展示会などの開催、関連活動の啓発やコンテスト、顕彰などがあげられます。もう一つの柱として世界寺子屋運動と称する分野での教育活動や海外支援がありますが、WARDの活動からは

離れるかもしれません。三つ目の柱は世界遺産保護活動です。自然遺産、有形無形の文化遺産、未来遺産など、ユネスコのイメージと結びつくものも少なくないと思われます。もう少し広げて環境保護活動を考えると、WARDの実績と重なる部分も見えてくるのではないのでしょうか。

筆者が個人的に関心を深めているのはユネスコスクールです。ユネスコの理想を実現するため平和や国際的な連携を実践する学校で、2017年10月現在、全国で小学校(520校)から大学(5校)を含む各種の学校が1000校あまり認定されています。読者の会員の周囲にも、認定資格を持つ学校が数多くあるはずですので、ユネスコ仲間として増やしていきたいものです。

WARD会長 松香 光夫

### 参考資料

小林 亮(2014) ユネスコスクール. 明石書店。

ユネスコ関係機関等

ユネスコアジア文化センター: <http://www.accu.or.jp>  
(ACCUはユネスコスクール事務局を担当している:

<http://www.unesco-school.mext.go.jp>)

日本ユネスコ協会連盟: <http://www.unesco.or.jp>

筆者(松香)連絡先: [mamat.tamagawa@gmail.com](mailto:mamat.tamagawa@gmail.com)

### \*参考

第75回日本ユネスコ運動全国大会in東京の開催予定  
(ユネスコ世界寺子屋運動30周年記念)

2019年9月7日; 8日

会場: 豊島区立目白小学校

詳細は日本ユネスコ協会連盟にお尋ねください。

Tel: 03-5424-1121



## プラスチックごみによる海洋環境汚染を憂う

世界でペットボトルのリサイクルが叫ばれるようになって25年以上が経過し、今では85パーセントの高い回収率と言われているにも関わらず世界では新たに環境や生物への深刻な問題を引き起こす一因となっています。先進国ではこれらのプラスチックごみを中国に対してリサイクルの原料として輸出してきましたが、実は中国国内におけるこれらのプラスチックごみのリサイクル率はわずか14パーセントしかなく、そのほかの回収されたプラスチックごみは最終的にはその他のごみと一緒に開発途上国へ運ばれ投棄されているのが現実となっています。それは比較的人口が多い地域、公害や貧困層が多く住む地域に投棄され、不適切に処理された有害物質を含む廃棄物の山から貧困層の子供たちがまだ使え



そうな物を集める姿を目にしたことがあるでしょう。

これらの廃棄物は豊かな先進国から輸出されており、2016年の統計によれば多い順に1. 香港、2. 米国、3. 日本、4. ドイツ、5. フランス、6. ベルギーとなっています。輸出した国々は中国が最終処分場としてリサイクル工場に出荷していると思いがちですが実際には貧困層の住む地域へ投棄されており、そこから大きな川を経由し、今では世界中で海洋汚染を引き起こし、深刻な問題になっています。

ドイツのヘルムホルツ環境研究センターによると、現在海に漂流するプラスチックごみの9割は以下の大河から流出していると言われています。

中国（揚子江、黄河、海河、珠江）中国ロシア（アムール川）東南アジア（メコン川）インド（インダス川、ガンジス川）アフリカ（ナイル川）西アフリカ（ニジェール川）。特にアジアの大河から流出したプラスチックごみが海流の関係で太平洋に集中して漂っているニュースもテレビで紹介していました。

今世界の海にはこれらのごみが毎年800トン流出しており、その中でもマイクロ



プラスチック（注釈参照）と呼ばれる微細なプラスチックは小さなプランクトンが餌と勘違いして食べます。食物連鎖によりプランクトンを餌にしている魚たちがこれを食べ、プラスチックを飲み込んだ魚は排出できないため死に至っています。特にプランクトンを主食とするクジラには大変な害を及ぼし、最近のニュースでも死んだクジラから多量の

プラスチックやビニールゴミが胃の中から見つかった例もあります。

プラスチックが自然界で分解するためには400年から1000年かかると言われ、これらを除去するためにはとてつもない年月を必要とします。

この世界を巻き込んだ海洋汚染を阻止するために、最近ではスターバックス、マクドナルドやディズニーランドではプラスチックから紙のストローに全面転換することが決定され、ケニヤ、ルワンダ、そしてEU諸国ではレジ袋の撤廃に動くなど世界中が廃棄物をコントロールし、リサイクルを推進する法案の可決に向け動き出しています。残念なことに四方を海に囲まれた日本における政治的な動きが全く遅いことは大変残念なことだと思います。

中国は事の重大性に気付いたのか今年からプラスチックごみの輸入を全面禁止する措置に出ました。そうすると世界で行き場を失ったプラスチックゴミが各国で停滞し、さらに中国以外の新興国へのごみの移動が起こり、処分しきれないごみはまた海洋投棄などで一時しのぎをするなど悪循環が懸念されます。これは地球環境にとっては大変ゆゆしき事態となります。

それでは子孫から良い環境を残すようゆだねられたわれわれWARDの会員はどのようにして地球環境を保全していかなければならないでしょうか。

日常の小さなことから始め、やがて大きなムーブメントになることを信じて以下の事を提案したいと思います。

- ①使い捨てをやめましょう
- ②買い物は買い物袋を常に持参しましょう
- ③プラスチック製品を使っている企業に生産者責任として必ず回収再生を義務づけるよう働きかけましょう
- ④企業にプラスチック以外のもので代用できるものを積極的に働きかけましょう
- ⑤自分の出したリサイクルごみの最終処分地がどこかをしっかり自覚し普段の生活を見直しましょう

WARD会員 田中まゆみ

### \*注釈

5mm以下のマイクロプラスチックは下水を通して海洋に流出します。フライパンに施されたテフロン、歯ブラシ、デンタルフロスの破片、シャンプー、リンス、洗顔料、スキンケアクリームなどの化粧品など多種多様なものが含まれます。





## 第27回WARD総会の概要

1. 開催日時 2017年12月2日14時30分から
2. 会場 アットビジネスセンター渋谷東口駅前(東京都)
3. 出席者 10名
4. 内容

(1) 会長挨拶 (松香光夫副会長)

昨年9月18日に会長が亡くなられた。この会ができてからずっと渡辺会長が支えてきた。亡くなってから活動が止まっていたが、今後どのようにしていこうか皆さんの意見を聞いてみようという事で総会を開催した。皆さんと共に考えていきたい。

- (2) 2017活動報告(資料参照)
  - (3) 2017会計報告(資料参照)
  - (4) 2018活動方針及び活動計画(資料参照)
  - (5) 2018予算案(資料参照)
- 補足(松香光夫副会長)

2018活動計画について、今後、ユネスコの活動計画と一緒にやっていったらどうかということを検討する。ユネスコの活動計画はWARDの趣旨と方向性が一緒である。これからは渡辺会長がやっていたことを考えてやるのではなく、私達で考えてやっていかなければならない。しかし、すべて自分たちでやるのは大きなエネルギーが必要で、実行するのはなかなか大変な事だ。そこでユネスコに乗るのはどうかという提案である。

※議案については全会一致で承認された。その後出され

た意見等は以下の通り。

- ・フェイスブックやInstagramの活用については若い方々が中心になって計画して欲しい。
  - ・2017年から行事等ができていなかった。WARDの活動について、もとのところから理解して進めたい。今、勉強し直すときに来ている。
  - ・会員の方々に会費を出して活動に参加していただくためには何か具体的にやっているという形が必要なのではないか。そこに投資する価値を感じてもらわないと会費を集めるのは難しいと思う。
- (6) 会長について  
全会一致で松香光夫副会長が会長に就任した。
  - (7) その他

**質問** ユネスコと組むことによって具体的にどのようなことが出来るのか。どのような魅力的なプランがあるのか。

**回答** 具体的な内容については国連総会で採択された17の目標(SDGs)の中から何を重点にやるか考えなければならぬが、バックにユネスコがついているということで信頼が得られやすい。また、ユネスコが柱になってくれるので様々な活動もしやすい。他のユネスコ関連の協会を参考にすることもできる。

### 5. 総会終了後、懇親会を開催し、9名が参加した。

## WARD総会資料

### I. 2017年度活動報告

1. 5月7日 第26回WARD総会
  2. 7月22日 定例会
  3. 8月26日 定例会
  4. 9月24日 定例会
  5. 10月29日 ニュースレター発送作業
- ※内容：チラシ作成、ニュースレター作成、HP更新

### II. 2018年度活動方針

1. WARD存続のための体制を整える
2. ユネスコ協会の支部として活動することを検討する
3. WARDの意義を宣伝し、仲間を増やす
4. 未来を奪われている子孫の存在を示し、その権利を主張する
5. 子孫の視点から問題を提起し、解決策を提示する
6. 「時間の物差」(時間軸)を普及し、「縦の平等」を推進する

### III. 2018年度活動計画

下記の部署で、それぞれの目標を設定し、活動する

1. 組織部 現状に合った組織の再編を検討する
2. 青年部 青年層の拡充  
会員が参加できる行事の計画及び実施
3. 広報部 FB、HP等の活用

### スローガン

— 子孫代理人から現代人(自分を含む)への呼びかけ —

1. 子孫が生きられる環境と資源を残して下さい!
2. 負の遺産(有害物、借金)を残さないで下さい!
3. 環境と資源の価値を経済に組み入れて下さい!
4. 全ての価値判断は、現時点ではなく、子孫に及ぶ時間で行って下さい!
5. 資源循環型社会を築き、資源を保全し、環境を改善して下さい!
6. 自然に逆らわず、自然を活用して下さい!
7. 戦争は止めて、軍事費を縮小し、地球環境防衛に注力して下さい!
8. 世界を1つにして、環境改善と資源保全を地球一元で進めて下さい!
9. 未来の人達を苦しめる「原発」を廃止して下さい!

# WARD会員、理事の皆様への お願い

WARD（世界子孫代理人会）の理念である“地球環境の悪化に対して我々が子孫に代わって持続可能な生活環境を残してほしいと代理して主張する”のはまさに現在SDGs（ユネスコが提唱する持続可能な開発目標）のもっとも重要な課題である持続可能な地球環境を次の世代に手渡すことと同じ考えではないでしょうか。

しかし、現実はどうかといえば電力を再生可能なエネルギーで賄う企業が増え、石炭関連投資の引き上げも始まっているとはいえ、大人たちのことの進め方は甚だ遅いと言わざるを得ません。

3月15日の朝日新聞朝刊にこのような現状に業を煮やした若者たちが世界各国で行動を起こし始めていることが報道されています。ベルギーのブリュッセルでは2月21日に中高生達7500人が集結し、政治家たちが何か行動を起こすまでストライキを続けよう、我々は今世界を変えようとしているだけではなく世界を救おうとしているのだ、と、デモ行進を繰り広げました。

スウェーデンの高校生、グレッタ・トゥンベリさんは昨年夏、学校の授業を欠席する授業ボイコット運動をたった一人で始め、地球温暖化の危機を訴えました。これはアメリカの銃規制を求めて授業をボイコットした高校生の運動に触発されたそうです。

彼女は言っています、「大人は2050年より先のことなど考えていない。でも私はその時はまだ人生の半分しか生きていないのです。」と。

この記事が故渡辺英男会長が読まれたならば、さぞ悔しく、心の中に複雑な想念が沸き上がったことでしょう。

WARDは今岐路に立たされています。渡辺前会長の逝去、会員の高齢化と会員の減少の中で、ユネスコとの協働が図られ、若いスタッフの加入など新たな胎動も始まっています。世界の若者が立ち上がり始めた今こそ、WARDの果たすべき役割がさらに重要性を帯びてきています。会員の方々、そして理事の方々、是非次回の総会へご出席いただき、新しいWARDの会員として今後の活動について忌憚のないご意見をお聞かせいただけないでしょうか？

世界の子供たちは我々大人に対し、こう訴えています。「希望を唱えるのではなく、恐怖を取り除いてほしい」と。  
WARD会員理事 斎藤光弘



世界と日本の若者の環境破壊に対する抗議行動

## WARD総会資料 (2017年度会計報告)

2017.4.1~2018.3.31(単位 円)

収入	予算	決算	備考	支出	予算	決算	備考
繰越金	128,748	128,748		会報費	260,000	164,708	印刷、発送、原稿
会費	400,000	1,258,440		会議費	50,000	38,334	借室料他
寄付金	400,000	400,000		事務所費	360,000	360,000	借室、光熱水
雑収入	71,252	9	利息	備品費	10,000	0	
合計	1,000,000	1,787,197		消耗品費	10,000	0	寄付
				通信費	40,000	40,000	寄付(電話・郵便)
				交通費	10,000	0	奉仕
				印刷費	10,000	0	寄付(コピー他)
				宣伝費	120,000	151,979	ホームページ・リーフレット
				調査費	20,000	0	奉仕
				感謝状贈呈費	40,000	40,000	製作、副賞
				雑費	10,000	4,822	
				基金積み立て		800,000	
				繰越金	60,000	187,354	
				合計	1,000,000	1,787,197	

### お知らせ

#### WARD総会開催 THE 28th WARD GENERAL MEETING

6月30日(日)、第28回WARD総会を下記の通り開催します。会場の神代植物公園には、約4800種類の樹木があり、バラ園、ツツジ園など30ブロックに分かれていて、景色を眺めながら植物の知識が得られるようになっています。皆さまの参加をお待ちしています。尚、準備の都合上、参加頂ける方は、6月14日(金)迄に、はがき又はFAXでWARD事務局(下記)へ申込下さい。総会の参加費は無料ですが、入園料500円が必要です。

#### 記

- \*日 時：6月30日 13:30~15:30
- \*会 場：神代植物公園植物会館 2F (正門を入れて直ぐ左)  
東京都調布市深大寺元町5-31-10  
\*京王線調布駅から小田急バス吉祥寺駅又は三鷹駅行き「神代植物公園前」下車  
\*JR 中央線三鷹駅又は吉祥寺駅から小田急バス調布駅北口又は深大寺行き「神代植物公園前」下車
- \*プログラム：13:20 開場  
13:30 開会 総会議事  
14:00 講演  
情報交換、スローガン唱和  
15:30 閉会
- \*当日の緊急連絡先 090-4754-6706 & 090-9340-2939

#### ◆ 会費納入のお願い ◆

2019年度の会費納入の郵便振替用紙を同封させていただきました。正会員の会費は1口(千円)以上賛助会員の会費は1口1万円です。納入にご協力をお願い致します。尚、領収証は振込時の領収控えて替えさせていただきます。

#### 会費納入方法

- A. 銀行振り込み みずほ銀行自由が丘支店 普通2286776  
加入者名WARD
- B. 郵便振替 00100-3-659238 加入者名WARD

#### WARD 52号(2019年●月●日発行)

発行人 松香光夫 永井伸一 定価150円  
編集人 田中國智  
WARD事務局 〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-4-21  
TEL 03-5721-1992 FAX 03-5721-8383  
http://www.ward-ngo.com